

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成18年8月24日(2006.8.24)

【公開番号】特開2005-284051(P2005-284051A)

【公開日】平成17年10月13日(2005.10.13)

【年通号数】公開・登録公報2005-040

【出願番号】特願2004-99206(P2004-99206)

【国際特許分類】

G 0 3 B 21/00 (2006.01)

G 0 3 B 21/14 (2006.01)

F 2 1 S 2/00 (2006.01)

F 2 1 V 5/00 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 21/00 E

G 0 3 B 21/14 A

F 2 1 M 1/00 Q

【手続補正書】

【提出日】平成18年7月11日(2006.7.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光を反射する反射電極部と、

前記反射電極部上に配置され、光を出射する発光部と、

前記発光部の光出射側に配置され、光の偏光方向を回転させる光透過性の基板または1/4波長位相差板と、

前記光透過性の基板または前記1/4波長位相差板からの光のうち、P偏光光またはS偏光光のいずれか一方の偏光光を反射し、他方の偏光光を透過する反射型偏光板と、
を有することを特徴とする半導体発光素子。

【請求項2】

請求項1に記載の半導体発光素子であって、

前記発光部は、LEDチップであることを特徴とする半導体発光素子。

【請求項3】

請求項1または請求項2に記載の半導体発光素子であって、

前記光透過性の基板は、サファイア基板であることを特徴とする半導体発光素子。

【請求項4】

光を反射する反射電極部と、前記反射電極部上に配置され、光を出射する発光部と、前記発光部の光出射側に配置され、光の偏光方向を回転させる光透過性の基板または1/4波長位相差板と、前記光透過性の基板または前記1/4波長位相差板からの光のうち、P偏光光またはS偏光光のいずれか一方の偏光光を反射し、他方の偏光光を透過する反射型偏光板とで形成される半導体発光素子を複数個有する光源ユニットと、

前記光源ユニットの光から光学像を形成する映像表示素子と、

前記映像表示素子を映像信号に基づき駆動する駆動回路と、

前記映像表示素子からの光を投射する投射レンズユニットと、

を有することを特徴とする映像表示装置。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の映像表示装置であって、
前記光源ユニットは、R 光用の半導体発光素子と、G 光用の半導体発光素子と、B 光用の半導体発光素子とで形成され、
前記 R 光用の半導体発光素子と、前記 G 光用の半導体発光素子と、前記 B 光用の半導体発光素子とを時分割で出射することを特徴とする映像表示装置。

【請求項 6】

請求項 4 または請求項 5 に記載の映像表示装置であって、
前記映像表示素子は、直視型表示素子であることを特徴とする映像表示装置。

【請求項 7】

光を反射する反射電極部と、前記反射電極部上に配置され、光を出射する発光部と、前記発光部の光出射側に配置され、光の偏光方向を回転させる光透過性の基板または 1 / 4 波長位相差板と、前記光透過性の基板または前記 1 / 4 波長位相差板からの光のうち、P 偏光光または S 偏光光のいずれか一方の偏光光を反射し、他方の偏光光を透過する反射型偏光板とで形成される半導体発光素子を複数個有する光源ユニットと、

前記光源ユニットからの光を R 光、G 光、B 光とに色分離する色分離部と、
前記 R 光、G 光、B 光に対応して配置された複数個の映像表示素子と、
前記複数個の映像表示素子からの光を合成する色合成部と、
前記色合成部からの光を投射する投射レンズユニットと、
を有することを特徴とする映像表示装置。

【請求項 8】

請求項 4 から 7 のいずれかに記載の映像表示装置であって、
前記発光部は、LED チップであることを特徴とする映像表示装置。

【請求項 9】

請求項 4 から 8 のいずれかに記載の映像表示装置であって、
前記光透過性の基板は、サファイア基板であることを特徴とする映像表示装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】半導体発光素子及びこれを用いた映像表示装置